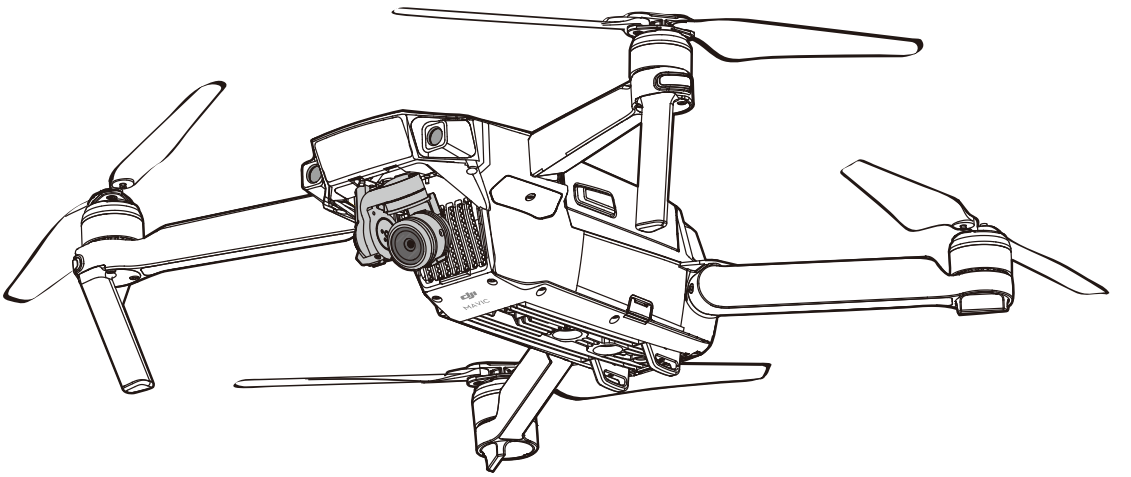
MAVIC PRO

クイックスタートガイド

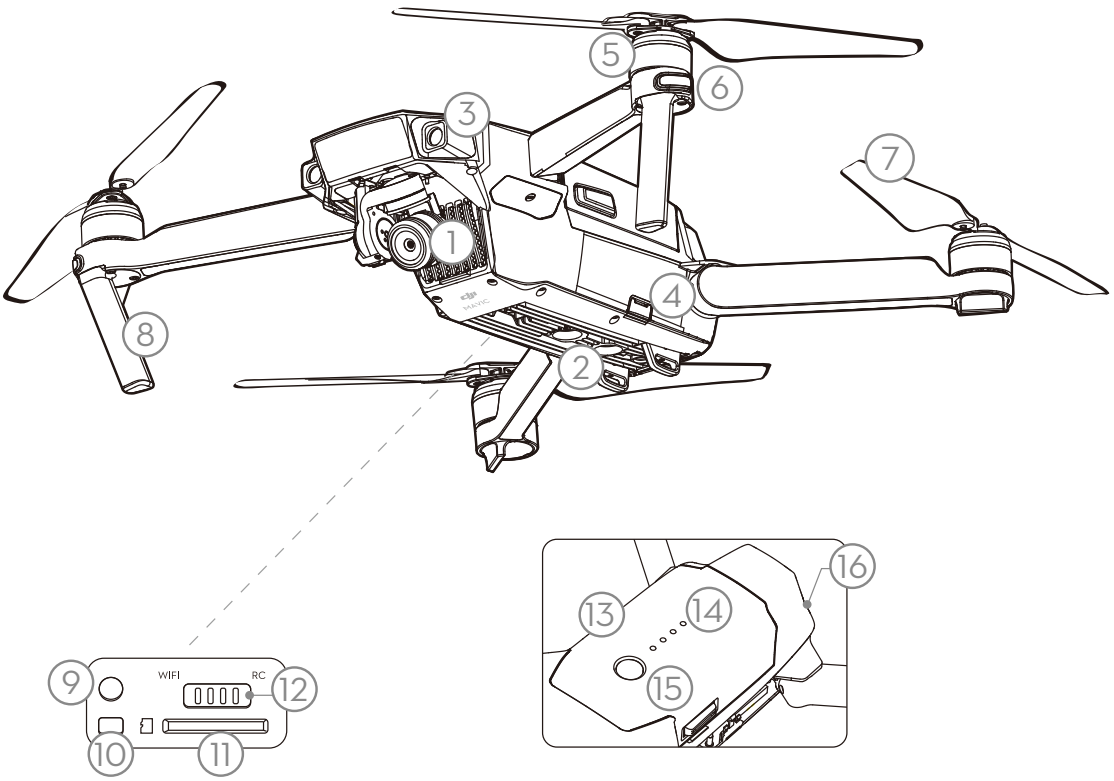
V1.0



機体

DJI™ MAVIC™ Pro は、革新的な折り畳み式で、持ち運びやすい機体です。本製品は、ジンバルを装備し、安定した4K動画と12メガピクセルの写真を撮影可能。撮影した美しい映像は、簡単にシェアすることもできます。TapFly™（タップフライ）とActiveTrack™（アクティブトラック）を使えば、視界の範囲内で機体をどこへでも飛行させることが可能で、動く被写体も簡単に追尾できます。

Mavic Pro の最大飛行速度は 65 km/時で最大飛行時間は 27 分*です。



1. ジンバルとカメラ
2. 下方ビジョンシステム
3. 前方ビジョンシステム**
4. Micro USB ポート
5. モーター
6. フロント LED
7. プロペラ
8. アンテナ
9. リンクボタン
10. リンクステータスインジケータ
11. カメラの Micro SD カードスロット
12. 制御モードスイッチ
13. インテリジェントフライトバッテリー
14. バッテリーレベル LED
15. 電源ボタン
16. 機体ステータスインジケータ

* 最大飛行時間は風速 0、速度 15.5mph（25kph）でテストしたものです。

** 前方ビジョンシステムは周辺環境の条件に影響を受けます。詳細については、免責事項および安全に関するガイドラインをお読みになり、DJI GO™ アプリまたは DJI 公式ウェブサイトのチュートリアルをご覧ください。

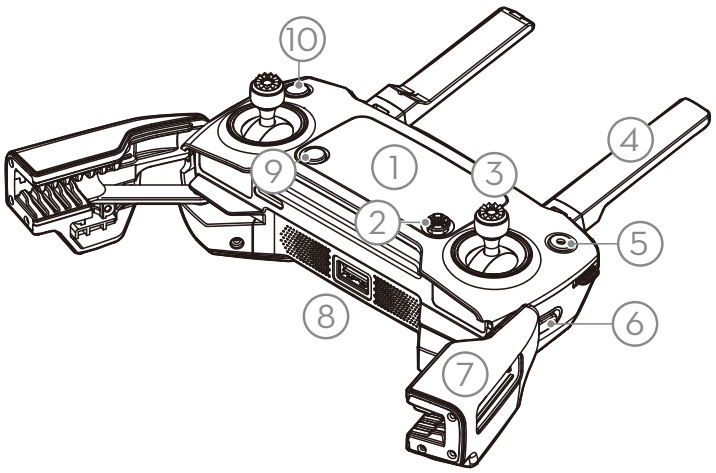
http://www.dji.com/mavic

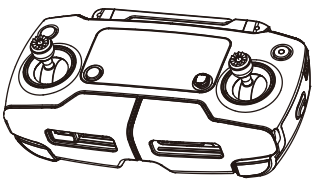
送信機

送信機にはDJI の最新長距離伝送技術である OCUSYNC™ が内蔵されており、最大4 km離れたところからDJI GOアプリを使って、カメラからリアルタイムで送信されるHD画質の映像を見ながら機体を制御できます。液晶画面には飛行時の最新の様子が表示され、モバイルデバイス・ホルダーが使用中のモバイルデバイスをしっかり保持します。

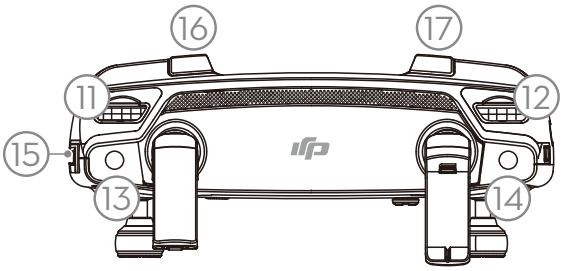
最長使用時間：2.5 時間*

1. 液晶画面
2. 5D ボタン
3. コントローラースティック
4. アンテナ
5. 電源ボタン
6. フライトモードスイッチ
7. モバイルデバイス・ホルダー
8. USB ポート
9. フライト一時停止ボタン
10. RTH ボタン





折り畳んだ状態



11. ジンバルダイヤル
12. カメラ設定ダイヤル
13. 録画ボタン
14. シャッターボタン
15. 電源ポート（Micro USB）
16. C1 ボタン（カスタマイズ可能）
17. C2 ボタン（カスタマイズ可能）

* 送信機の最大伝送距離（FCC)は、電磁干渉のない開けた場所で高度120mであれば、最大7 kmです。
ただし、日本仕様の最大伝送距離は4 kmです。
最大使用時間はラボ環境でテストされており、参考値です。

仕様

- 機体

重量	734 g
重量（ジンバルカバーを含む）	743 g
最大上昇速度	スポーツモードで 5 m / 秒
最大下降速度	3 m / 秒
最大速度	65km/時（無風）
運用限界高度（海抜）	5,000 m
最大フライト時間	27 分（無風、速度 25km/時）
最大ホバリング時間	24 分（無風）
最大フライト距離	13 km （無風）
動作環境温度	0°～40°C
衛星システム	GPS／GLONASS

- ジンバル

操作可能範囲	ピッチ（垂直方向）：-90°～+30°、ロール（水平方向）：0°または 90°

- 前方ビジョンシステム

障害物検知範囲	高精度計測範囲：0.7m～ 15m, 認識範囲：15m～ 30m
動作環境	地表の模様が明瞭で、適切な明るさのある状態（15 ルクス超）

- 下方ビジョンシステム

対応速度	地上 2 m、36 km / 時
対応高度	0.3～13 m
動作範囲	0.3～13 m
動作環境	地表の模様が明瞭で、明るさが適切な状態（15 ルクス超）

- カメラ

センサー	1/2.3". 有効ピクセル数：12.35 メガピクセル （総ピクセル数：12.71 メガピクセル）
レンズ	78.8° FOV（視野角）、28mm（35mm 判換算）f/2.2 ディストーション 1.5%未満 焦点 0.5m～無限遠
ISO レンジ	100～3200（動画）、100～1600（静止画）
シャッタースピード	8 秒～1/8000 秒
最大静止画サイズ	4000 × 3000
静止画モード	シングルショット 連続撮影：3枚、5枚、7枚 オート露出ブラケット（AEB）： 3枚、5枚（0.7EV ステップ） インターバル撮影 HDR

動画モード	C4K: 4096×2160 24p, 4K: 3840×2160 24/25/30p 2.7K: 2720×1530 24/25/30p FHD：1920×1080 24/25/30/48/50/60/96p HD：1280×720 24/25/30/48/50/60/120p
最大ビデオビットレート	60 Mbps
対応ファイル形式	FAT32（32 GB 以下）、exFAT（32 GB 超）
静止画	JPEG、DNG
動画	MP4、MOV（MPEG-4 AVC/H.264）
対応 SD カードタイプ	microSD™最大容量：64 GB クラス 10 または UHS-1 規格が必要

- 送信機

動作周波数	2.4 GHz～2.4835 GHz
最大伝送距離	4 km（日本仕様） 障害物および干渉がないこと
動作温度	0～40℃
バッテリー	2970 mAh
送信機電源（avg. EIRP）	FCC：≤26 dBm、CE：≤20 dBm
動作電圧	950 mA @ 3.7 V
対応デバイスサイズ	対応厚さ：6.5～8.5 mm、最大長：160 mm 対応 USB ポートタイプ：Lightning、Micro USB(Type B)、 USB Type-C™

- 充電器

電圧	13.05 V
定格出力	50 W

- インテリジェント・フライト・バッテリー

容量	3830 mAh
電圧	11.4 V
バッテリータイプ	LiPo 3S
電力量	43.6 Wh
正味重量	240 g
充電温度範囲	5～40℃
最大充電電力	100 W

詳細については、ユーザーマニュアルをダウンロードしてください。

http://www.dji.com/mavic

※このコンテンツは予告なく変更される場合があります。

1. DJI GO アプリをダウンロードし、チュートリアルビデオを視聴します。

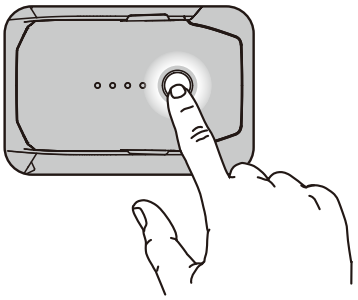
App Store または Google Play で「DJI GO」を検索するか QR コードをスキャンして、お手持ちのモバイルデバイスにアプリをダウンロードします。www.dji.com または DJI GO アプリでチュートリアルビデオをご覧ください。

DJI GO アプリと詳細情報

• DJI GO は iOS 8.0 以降と Android 4.3 以降に対応しています。

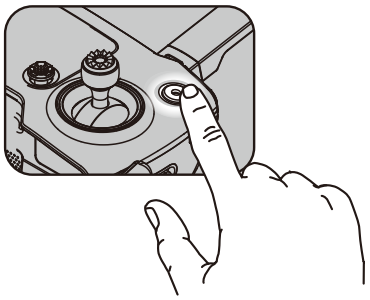
---

2. バッテリーレベルのチェック



少 ●— バッテリーレベル → 多

ボタンを 1 回押すと、バッテリーレベルを確認できます。ボタンを 1 回押し、次に長押しすると、電源がオンまたはオフになります。

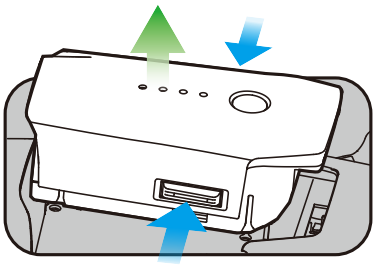


BAT 100 PCT

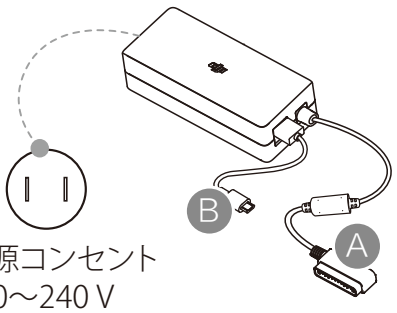
バッテリーレベル100%

ボタンを 1 回押すと、液晶画面でバッテリーレベルを確認できます。ボタンを 1 回押し、次に長押しすると、送信機の電源がオンまたはオフになります。

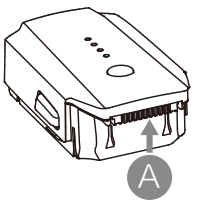
3. バッテリーの充電



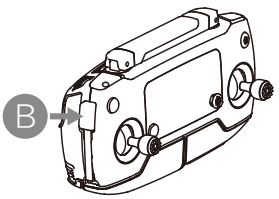
インテリジェント・フライト・バッテリーの取り外し



電源コンセント
100～240 V



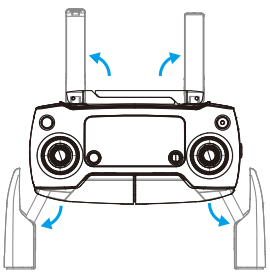
充電時間：
～1 時間 20 分



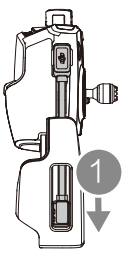
充電時間：
～2 時間

---

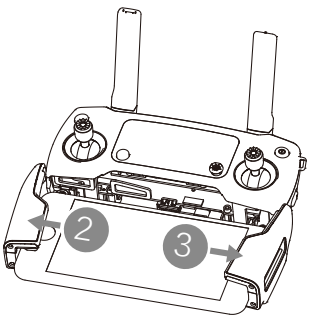
4. 送信機の準備



アンテナとモバイルデバイス・ホルダーを広げます。

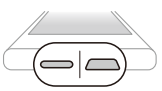


RC ケーブルの片端を送信機のスロットの端に差し込みます。



強い

弱い

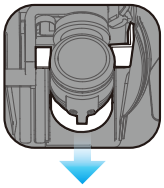


Lightning コネクタケーブル（接続済み）と標準 Micro USB ケーブル付属。適切なものを使用してください。

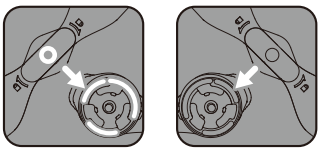
USB Type-Cコネクターケーブルは付属しています。リバースMicro USBコネクターケーブルは、別売品で用意しています。

- 適切な RC ケーブルを選択してください。RC ケーブルはねじらないでください。
- USB Type-Cコネクターケーブルを使用する場合は、送信機のケーブルスライダーを取り替える必要があります。RC ケーブルの接続については、ユーザーマニュアルを参照してください。

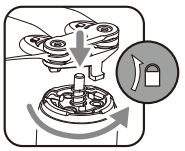
5. 機体の準備



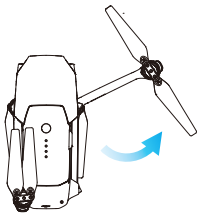
カメラからジンバルクランプを取り外します



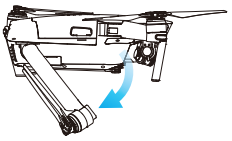
プロペラをモーターに合わせる



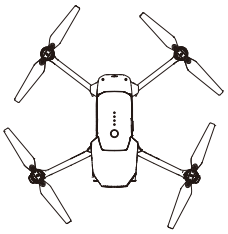
プロペラを下に向かって強く押して、ロック方向へ回転させます



前方のアームとプロペラを広げる



後方のアームとプロペラを広げる



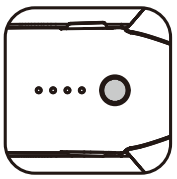
広げた状態

- 前方のアームとプロペラを広げてから後方のアームとプロペラを広げます。離陸前にすべてのアームとプロペラを広げておく必要があります。
- ジンバルカバーはジンバルを保護するために使用します。必要に応じてジンバルカバーを取り外します。

---

6. 離陸の準備

送信機の電源を入れる



機体の電源を入れる

DJI GO アプリを起動する

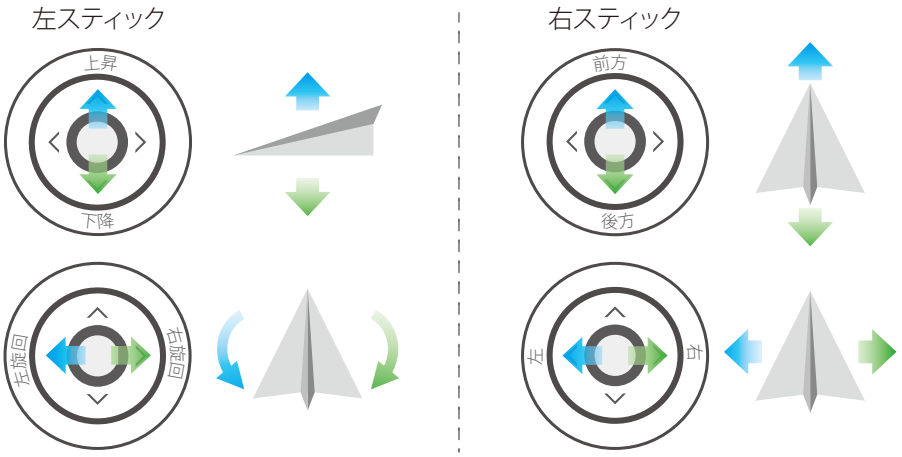
インターネット

ご自分の DJI アカウントを使用して機体をアクティベートします。アクティベートするにはインターネット接続が必要です。

- 送信機かバーチャルジョイスティックを使用して Mavic Pro を制御できます。制御モードスイッチを切り替えて制御モードを選択します。このスイッチを切り替えるときは必ず電源をオフにしてください。

7. 飛行

デフォルトのフライトコントロールはモード 2 です。左スティックで機体の高度と進行方向、右スティックで前進、後退、右回転、左回転をコントロールします。ジンバルダイヤルでカメラのチルト操作をコントロールします。



初期設定はモード2です。モード 1 を使いたい方はDJI GOアプリでモードを切り替えてください。

離陸する前に、DJI GO アプリの機体ステータスバーまたは送信機の液晶画面に「Ready to Go」が表示されていることを確認します。

モーター始動／停止のコンビネーションスティックコマンド

左スティックをゆっくり上げて離陸

地面に着くまで、左スティックを（ゆっくりと）下げます。
数秒間そのまま保持してから、モーターを停止します。

- 送信機が深刻なエラーを検知したときに限り、飛行中にモーターを停止させることが可能です。

• モバイルデバイスを使用して Wi-Fi 経由で機体を制御

1. 制御モードスイッチを切り替えて Wi-Fi をオンにする
2. 機体の電源を入れる
3. DJI GO アプリを起動して画面の右上にあるアイコンをタップし、前方のアームにある Wi-Fi QR コードをスキャンすると接続が始まります
4. [Auto Takeoff] をタップする
5. タッチコントロールで機体を飛行させる

- 何らかの理由で QR コードをスキャンできない場合は、モバイルデバイスの Wi-Fi をオンにして前方のアームに書かれている Wi-Fi パスワードを入力すれば、Mavic ネットワークに接続できます。
- 電磁干渉のない開けた戸外で Wi-Fi を使用した場合、高度50 mでの伝送距離は 80 mです。
- モバイルデバイスの Wi-Fi 周波数は、2.4Ghz または 5Ghz に設定できます。より干渉の少ない通信を使用する場合は 5Ghz に設定してください。Mavic Pro に接続したら、Wi-Fi のパスワードを変更したり、接続をリセットしたりすることができます（詳細については、Mavic Pro のユーザーマニュアルを参照してください）。

• DJI GO アプリ

自動離陸

自動着陸

RTH
(Return-to-Home)

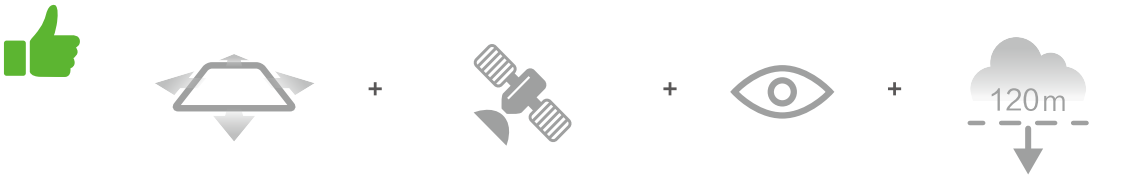
ActiveTrack
（アクティブトラック）

TapFly
（タップフライ）

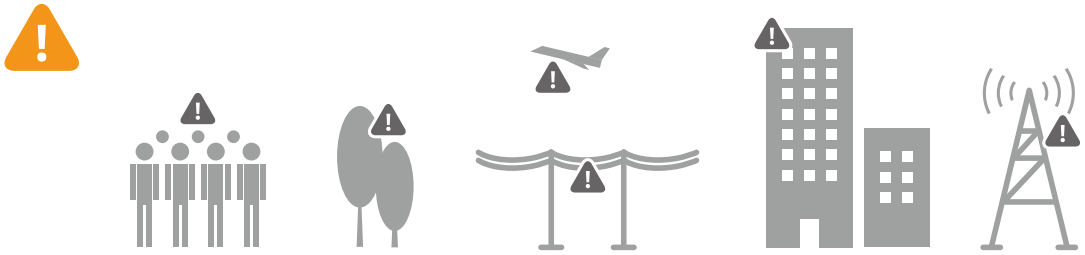
通常

- 詳細については、DJI GO アプリまたは DJI 公式ウェブサイトでチュートリアルをご覧ください。
- 離陸前に、必ず適切な RTH 高度を設定してください。機体をホームポイントに戻す際には、コントロールスティックで誘導してください。

8. 安全なフライトのために

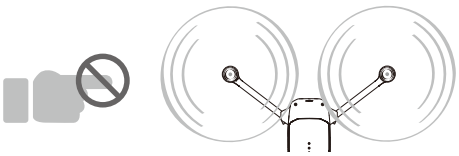


開けた場所での飛行　＋　強い GPS 信号　＋　視界の維持　＋　120m以下での飛行



障害物、人混み、高電圧線、樹木、水域の近くで飛行させないでください。送電線や基地局などの強い電磁波域の周辺では、機内搭載のコンパス性能が劣化することがあるため、飛行させないでください。

雨、雪、霧、風速 10 m/秒超などの悪天候時に機体を使用しないでください。



回転中のプロペラやモーターに近づかないでください。

飛行不可ゾーン

詳細については、以下をご覧ください。
http://www.dji.com/jp/flysafe/no-fly

ご自身の安全と周りの人々の安全のため、基本的なフライトガイドラインを理解することが重要です。**免責事項および安全に関するガイドライン**を必ずお読みください。

MAVIC™ は DJI の商標です。
Copyright © 2016 DJI All Rights Reserved.

Designed by DJI.Printed in China.

MAVIC PRO

www.dji.com